

伊賀市上野西部 公民館だより

第 156 号

平成 28 年 4 月 15 日

編 集 発 行: 上野西部公民館

所 在 地: 伊賀市上野福居町

上野西部地区の人口 世帯数 1,470 人口 3,306 人(内男 1,570・女 1,736) 職 28.3 末 現在

伊賀上野 NINJA フェスタ 4月2日(土)~5月5日(木) 主に土・日・祝

桜の季節、恒例の「伊賀上野 N I N J A フェスタ」が始まりました。



4月2日(土)上野公園内の伊賀流忍者博物館では「忍者供養回向」が営まれ観光協会をはじめ30人が出席。松本院の住職と山伏が忍者の由来や活躍の回向文を読み上げ、忍者の冥福を祈りました。また本丸広場では、「ちびっこ忍者ダンスダンス」が開催、幼稚園や保育園児が色鮮やかな衣装で「いが☆グリオ」と「忍ジャーズダンス」で盛況でした。また

市街地では各所で催しが繰り広げられ、期間中の土曜日曜と祝日はまちかど忍者道場6か所が用意され、忍者衣装を着た家族連れで、にぎわいます。



まちかど忍者道場 6カ所

土・日曜、祝日 午前10時~午後4時30分

吹き矢道場	的をめがけて吹き矢一吹き	西大手駅前
忍者パズル道場	木製パズルで頭の修行	赤井家住宅 (上野忍町)
天井すいすい道場	竹の棒にぶら下って渡る修行	農人町集議所
行灯火消道場	並んだろうそくの火を一息で	中町公民館
手裏剣打ち+足湯道場	手裏剣打ちと足湯体験	伊賀傘蔵 (上野三之西町)
弓矢道場	弓矢で的を射抜きます	銀座の館 和ホール

忍者変身処: 1着 1,000円~まちかど忍者道場: 1箇所 200円

まちかど忍者道場修行ブック: 1,000円 (500円の金券として利用できる土符つき)

春のだんじり入れ替えのおしらせ

4月17日(日) だんじり通行時のご協力を お願いいたします。

搬 出	会館搬出	10:50~12:00	西 町 福居町 鍛冶町	各町へ曳行
搬 入	各町出発	13:30~14:50	中 町 新 町 小玉町	各町から会館へ曳行

往古川クリーン作戦

往古川の水をきれいにしよう会

3月26日(土)往古川周辺で、恒例の往古川クリーン作戦が開催されました。往古川は、緑ヶ丘東町の水源地となる根本坊池から地域の雨水、生活排水を集める川で、同会は地域が生活排水に関心を持つ事や、流域の環境の整備などに取り組んでいます。朝9時、西部市民センターには東部・南部・木興・西部など各地区から50名余りが集まり、軍手 ごみバサミ ごみ袋を手に、穏やかな日差しの中、木興町～長田木津川樋門迄、河川敷を歩きながら作業しました。1時間で、空き缶・ペットボトル・紙くずなどは、軽トラック一台分になりました。



上野新町薙刀鉾 見送り幕 納入

3月30日(水)上野新町のだんじり【薙刀鉾】見送り幕が復元新調され納品されました。



新町集議所で上野文化美術保存会や町方が見守る中、新調された見送り幕が旧幕と共に拵られ、鮮やかな色彩が部屋に拵られました。中村自治会長によりますと、蘭人巖上に遊ぶの図が描かれた見送り幕は、京都にて製作、丸3年を要し完成。構図、輪郭線を旧幕の表裏から写し取り、特に色彩については旧幕製作当時の色を再現する為、裏面から糸を分析、再現されました。また傷みで解からなかった箇所も調査により復元されたとの事です。裏地の絵柄も見事に復元され、見学に訪れた各祭町の面々も興味深げでした。お披露目は9月に行われます。



中分団ポンプ庫 表示一新

消防団の組織変更が行われ、上野西部地区を担当する分団が「上野中分団第2部」となりました。これに伴い、上野西部市民センター横の消防団ポンプ庫表示が3月に新しく書き直されました。分団員の皆さん、今後ともよろしくお願いします。

健康教室 健康福祉スポーツ部会 健康の駅長

3月13日(日) 健康教室が上野西部市民センターで開催されました。参加者は順に、



握力 身長 体重
体脂肪率 骨量
血圧 血流測定
(血管年齢)を測定、
所定の用紙に記入
します。

数値からは、基礎
代謝や体脂肪の分
類表を見比べ、自
身の健康管理に役
立ちます。また標
準体重(kg)や BMI
(体格指数)と呼ば

れる体重と身長のバランスから、外見的な肥満度を示す数値が標準範囲かが解ります。血管年齢測定では数値を観て笑顔に。測定後は2階ホールで保健師さんのお話と、軽い背伸び運動から普段使わない筋肉のストレッチ、指や腕を使つての脳トレ体操は好評でした。



photo.jp - 12026883

探訪シリーズパネル展

教育・文化・芸術部会



3月19日(土)～21日(月)ハイトピア5階ロビーで、教育・文化・芸術部会による探訪シリーズ写真・パネル展が開催されました。シリーズより『テラコッタが見える街角』『京口橋と擬宝珠』が展示されました。初日は久保部会長が訪れた方に説明。翌20日に伊賀市ゆかりの作家・横光利一を偲ぶ催しもあり、参加された方も興味深く見学されました。

煌星俳句会

大野利江俳評

つくしんぼ子等も夜なべの袴取り はかま 炊 規夫

「土筆坊」と書くが、この句にはひらがなが似合う。ご家族でその日のことを話し乍らの袴取り。楽しい話声が聞こえる。

雛しまふ幼き日日をしまふごと 安屋 宣子

雛を飾れば幼き日日がよみがえる。その日日を大切にしまふごとくに雛を納める。女性ならではの繊細な心理の作品である。

楊貴妃も小町も御座す盆梅展 おわ 田畑 寛一

美人の代名詞の名がついている盆梅。さぞかし香りも特別であったろう。立ち去り難く見入っておられる作者である。

春陽射し伊吹の嶺を近くせり 辻野 和彦

この山は「お花畑」「スキー場」でもあり親しい。あたたかい陽が射し、山を作者がより近く感じられたと。

枝垂梅しだるるほどに曲線美 谷口 恂

枝垂梅を見つめると何と魅力的な曲線美である事よ。男性ならではの美の発見。中七が効いている。

少年の立漕ぎ春の向かい風 百上 進一

これからの人生を示しているようであるが少年は立漕ぎで立派に乗り越えていかれるであろう。力強い一句である。

ふるさとの空港親し春の泥 富田 まり

地方空港の隅の方に、ややぬかるんだ場所を見られた作者。そのぬかるみにふるさとを感じられ「親し」と詠まれた

木道に散りし辛夷や人の寄る こぶし 中森美年子

「木道」で、やさしい野外の道を思う。そこに辛夷が散っていて散策の人達が寄って来てしばらく見てゆく。平和な風景。

俳画サークル



天神さんのはるまつり

「春季例祭」

4月24日(日)菅原神社境内

御神輿2基展示

10:00 阿山赤松太鼓

11:00 生バンド演奏(ザジーズ)

13:00 森ルリ子ジャズダンス&ハン
ドベル

14:00 京都宙音(そらね)雅楽会

15:00 F.G.P ダンススクール

16:00 奉納 詩吟、剣舞

10:00～16:00 オーガニック

供奉行列は中止し、境内でお祭りです。